令和2年度第13回松江市教育委員会会議議事録

日時：令和3年2月16日（火）13：30～

場所：教育委員会室

出席委員：清水教育長、藤原委員、金津委員

欠席委員：多々納委員、伊藤委員

事務局出席者：早弓副教育長、大谷副教育長、次長（教育総務課長）、
教育総務課教育指導官、教育総務課長補佐、学校教育課長、
女子高等学校長、女子高等学校事務長

1 開会宣言（清水教育長）

2 会議録署名者の指名（藤原委員、金津委員）

3 報告【1件】

○清水教育長

本日、報告が1件提出をされている。

それでは、事務局より説明をお願いします。

【報告第16号 松江市教育委員会「教職員の働き方改革プラン」の策定について】

○教育総務課教育指導官

議案の3ページから6ページに掲載している。

この度の松江市教育委員会による教職員の働き方改革プランは、令和2年4月から施行されている松江市立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則に基づき、子どもたちの健やかな成長や学力育成を図る上で、教職員の心身の健康の維持が不可欠であるという視点から、数値目標や具体的な取組などを示すことで、教職員の長時間労働の解消につなげることを目的に策定したものである。

昨年度の教職員の月当たり平均時間外勤務時間は50.5時間となっている。また、年間の年次有給休暇の取得割合では、10日以上の子休を取得した教職員は41.2%となっている。

こうした状況も鑑み、松江市立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則で示した月当たりの時間外労働時間の上限である 45 時間及び全ての教職員が 10 日以上の年次有給休暇を取得することを目標にしている。

また、プラン達成のための具体的な取組を示している。松江市教育委員会では、本プランの策定を契機に、保護者や地域の皆様等の御理解・御協力を得ながら、学校と一体となって学校現場の働き方改革を更に進めていきたいと考えている。

また、計画期間は令和 2 年度から令和 5 年度とし、年度ごとに達成状況を検証し、内容の改善を図っていききたいと考えている。

本日の教育委員会会議後、学校や PTA 関係者等に送付するとともに、ホームページに掲載する予定としている。

説明は以上である。よろしく願います。

○清水教育長

何か質問や意見はあるか。

○藤原委員

これから取り組むこととして、留守番電話の設置の導入というところがあるのだが、今現在、学校の電話の受付は何時までということが決まっているのか。先生が学校にいらっしゃる限りは電話を取っていただいているのか。

○教育総務課教育指導官

学校によって対応はまちまちだが、学校でルールを決めているところは少なく、原則的には、かかってきた電話には対応しているというのが状況である。

○藤原委員

承知した。

○清水教育長

ほかに何かあるか。

○金津委員

我々も企業として働き方改革にいろいろ取り組んできたが、意外と最初は大変で、どこかしらに何かしらの影響が必ず出る。結局は仕事を持ち帰ったりということもあったりする。最初はいろいろあると思うが、是非しっかり取り組んでいただき、時間や目標が達成できるようにしていただきたいと思う。

○教育総務課教育指導官

承知した。

○清水教育長

ほかに何かあるか。

……………質問・意見なし……………

それでは、報告第 16 号は以上とする。

4 議事【議案 7 件】

○清水教育長

本日、議案が 7 件提出されている。

【議第 40 号 松江市教育委員の辞職の同意について】

○清水教育長

本件については、本年 2 月 9 日付で、藤原委員より「本年 3 月 31 日付で辞職したい」旨、申出があった。このことについて審議を行うが、藤原委員においては自己の一身上に関するものであるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 6 項の規定により、当該議事の審議が終了するまで御退席いただくようお願いしたいと思う。

なお、同法第 14 条第 3 項により、委員の自己の一身上に関することについては、出席委員が過半数に達していなくても議決されることを申し添えておく。

それでは、御退席をお願いします。

……………藤原委員退室……………

それでは、藤原委員の辞職について、同意をされるか。

……………全員同意……………

私も含め、同意をするということである。

……………藤原委員入室……………

藤原委員の辞職については同意をされたため、お知らせしておく。

【議第 41 号 松江市教育委員会会議規則の一部改正について】

○次長（教育総務課長）

議案は 9 ページから 12 ページを御覧いただきたいと思う。

この議案の改正要旨であるが、請願の手続きや処理に関する規程を追加するため、一部改正を行うものである。

改正内容は、「請願書に記載する事項を列記すること」、「請願の受理から採択・不採択の決定までの処理の流れを明記し、詳細は教育長が別に定めること」、及び「陳情の処理についても教育長が必要と認める場合は、請願の例により処理をすること」を規定するものである。

施行は公布の日からである。

説明は以上である。よろしくお願いを申し上げる。

○清水教育長

何か質問や意見はあるか。

……………質問・意見なし……………

それでは、議第 41 号については承認された。

【議第 42 号 松江市教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部改正について】

○次長（教育総務課長）

議案は 13 ページから 14 ページをお願いする。

改正要旨であるが、教育長が専決することができる規定を追加するものである。

改正内容は、「法令又は条例等の制定又は改廃に伴う用語の整理など政策的な内容の変更を伴わない軽易な事項の教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関することについては、教育長が専決をすることができるものとするもの」、及び「教育長が専決した事務のうち特に重要と認めるものについては、教育委員会の

会議に処理の状況を報告することとするもの」である。

施行は公布の日からである。

説明は以上である。

○清水教育長

何か質問や意見はあるか。

……………質問・意見なし……………

それでは、議第 42 号については承認された。

【議第 43 号 松江市教育委員会教育長職務代理者に関する規則の制定について】

○次長（教育総務課長）

議案は 15 ページから 16 ページをお願いします。

制定要旨であるが、教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けたときにその職務に支障をきたすことのないよう規則を制定するものである。

制定内容は 16 ページを御覧いただければと思う。

第 1 条で制定の趣旨を、第 2 条で教育長職務代理者の指名を規定している。第 3 条で教育長及び教育長職務代理者ともに事故があるとき等の措置として、前任の委員が教育長職務代理者に指名されたものとみなすことを規定している。第 4 条では、事務局職員による代理について、教育長職務代理者が職務を行うこととなった場合は、教育委員会職員に事務の一部を委任し、臨時に代理をさせることを規定するものである。

施行は公布の日からである。

説明は以上である。

○清水教育長

何か質問や意見はあるか。

……………質問・意見なし……………

それでは、議第 43 号については承認された。

【議第 44 号 令和 2 年度松江市一般会計補正予算（第 11 号）（教育予算）の調製依頼について】

○次長（教育総務課長）

議案は 17 ページから 24 ページである。

まず、歳出の主なものについて御説明を申し上げる。19 ページをお願いする。

5 番の学校教育育成事業費は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、小中連合音楽会や吹奏楽コンクールなど、各種事業が中止となったため減額するものである。

7 番と次のページの 11 番の学校教育活動継続支援事業費（新型コロナウイルス対策事業）は、感染症対策として、水道栓をレバーハンドルに取り換える事業費である。

9 番の古志原小学校校舎大規模改造事業費は、国の第 3 次補正予算に呼応し、前倒しをして実施するものである。

10 番の空調改修事業費であるが、これも国の第 3 次補正予算に呼応し、忌部小学校・竹矢小学校の空調設備の改修を前倒しして実施するものである。

20 ページをお願いする。12 番の学校体育連盟推進事業費であるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種大会事業が中止となったため減額するものである。

次に 13 番の湖南中学校校舎大規模改造事業費は、これも国の第 3 次補正予算に呼応し、予算を前倒しして実施するものである。

14 番の特別教室空調設備整備事業費は、これも国の第 3 次補正予算に呼応し、一中・二中・八雲中の特別教室に空調設備を新たに整備するものであり、予算を前倒しして実施するものである。

15 番の学校施設整備維持補修費は、本年度実施をしている二中の車いすに対応するトイレ改修の 1 期工事に続き、2 期工事を国の補正予算に呼応し、前倒しして実施するものである。

17 番の私立幼稚園施設型給付費は、給付費の加算要件の変更や利用児童数の減に伴い減額するものである。

18 番の幼稚園空調設備整備事業費は、これも国の第 3 次補正予算に呼応し、城北幼稚園の空調設備の更新を前倒しして実施するものである。

次に、21 ページをお願いする。26 番の学校給食施設整備費は、これも国の第 3 次補正予算に呼応し、西学校給食センターの空調設備の更新を前倒しして実施するものである。

続いて歳入である。23 ページをお願いする。

1 番から 10 番の国庫負担金及び国庫補助金であるが、歳出で説明をした各々の事業

等の財源として充当するものである。

11 番の県負担金も、これも歳出で説明をした事業の財源として充当するものである。

24 ページをお願いする。15 番のふるさと指定寄附金は、大野公民館が行う教育の振興を目的で行う事業に充当するため、積立を行うものである。

17 番から 25 番の市債であるが、これも各々の事業の財源とするものである。

説明は以上である。よろしくお願いを申し上げます。

○清水教育長

何か質問や意見はあるか。

……………質問・意見なし……………

それでは、議第 44 号については承認された。

【議第 45 号 令和 3 年度松江市一般会計予算（教育予算）の調製依頼について】

○次長（教育総務課長）

議案は 25 ページから 30 ページである。

まず、26 ページに松江市全体の予算、それに占める教育費などについての総括的な表があるため、これで御説明を申し上げます。

松江市全体の予算は 981 億 7,600 万円で、4 月の市長選を控え、骨格予算となっており、前年度から 2.1%の減ということである。このうち教育費についてであるが、104 億 274 万 6,000 円で、17.4%の減ということになっている。

その下の教育費の科目別の表を御覧いただければと思う。教育委員会所管の教育総務費は 9.1%の減、小学校費は 68.9%の減、中学校費は 88.6%の増、高等学校費は 7%の増、社会教育費は 9.1%の増、保健体育費は 15%の減ということになっている。その他、他部局所管では、幼稚園費は 10.6%の減などとなっているところである。

この増減理由の主なものであるが、教育総務費では、小中学校へのタブレット等、ICT 機器の整備が終了したことにより減となっている。小学校費では、玉湯学園の建物の建築が終了したことによって大幅な減となっている。以上が増減の大きな理由となっている。

教育関係予算については、補正予算も含め、必要な予算を必要な時期に適切に要求を行うことにより、総合計画に掲げる人材の育成や学力の向上などに資する経費につ

いて、厳しい財政状況の中ではあるが、予算の確保に努め、各事業が後退することがないように努めたところである。

それでは、主な事業については 27 ページから 30 ページに記載をしているため、特徴的なものについて御説明を申し上げる。

まず、湖北地区統合小学校整備事業費であるが、昨年 7 月に統合の了解をいただいたが、10 月に建設委員会を設置して、義務教育学校への移行や児童クラブの統合等について議論いただき、先週開催された建設委員会において、義務教育学校への移行を前提とすること、児童クラブを統合することを決定いただいたところである。現在は施設の建設場所をどうするのかを検討をいただいているところである。令和 3 年度は、基本計画の策定や用地の取得等について予算を計上させていただいている。

次に、女子高魅力化事業費である。今年 4 月から学科の改編を行い、校名を松江市立皆美が丘女子高等学校へ変更し、新たにスタートすることとしている。英語を中心とする語学教育の強化と松江の発展を担う女性人材の育成を目指し、教室数の確保や空調設備などの環境整備や生徒の県外募集の実施に向けた事業費を計上しているところである。

続いて 28 ページをお願いします。次に、歴史が結ぶサマースクール事業費である。市内小学校 6 年生を対象に募集を行い、姉妹都市である愛知県大口町へ訪問し、歴史的なつながりを体感する体験的な学習プログラムを実施するものである。

次に、特別支援学級介助員配置事業費である。介助の必要な児童生徒が在籍する特別支援学級に介助員を配置しているが、来年度は 1 名増員する予定としているところである。

次に、西学校給食センター・宍道学校給食センター整備費である。いずれも老朽化した設備を更新するもので、安心安全な給食の提供に努めていく。

次に、29 ページをお願いします。まず、児童クラブ運営補助金である。公設児童クラブの補完及び独自の特徴を生かした保育方針に基づき、事業を実施されている民間の事業者に対し、補助金を交付する経費を計上しているところである。来年度は 34 クラブに交付する予定としている。

次に、公民館管理費である。今年 4 月からは、東出雲公民館が公設自主運営方式へ移行するため、東出雲公民館を含め、市内 29 全公民館の指定管理料等を計上するものである。

次に、東出雲複合施設整備事業費である。東出雲公民館と東出雲支所等との複合施設を整備するもので、来年度は実施設計等を行うものである。

次に、総合文化センター整備費である。大規模改修を行うもので、来年度は実施設計を行うものである。

次に、業務効率化推進事業費（公立幼稚園・公立保育所）についてである。児童の登降園管理や園児台帳管理、各種料金計算等のシステムを導入するものである。

30 ページをお願いする。このページに記載しているのは、新型コロナウイルス感染症対策について当初予算に計上した 6,750 万 9,000 円の予算額の内訳である。令和 2 年度に引き続き、令和 3 年度も掲載している事業等により、新型コロナウイルス感染症対策に努めてまいりたいというように考えているところである。

説明は以上である。よろしくお願いを申し上げる。

○清水教育長

何か質問や意見はあるか。

……………質問・意見なし……………

それでは、議第 45 号については承認された。

【議第 46 号 令和 2 年度島根県学力調査結果の公開内容に関する件について】

○学校教育課長

議案は 31 ページから 34 ページである。

前回、1 月 26 日に開催された第 11 回教育委員会会議において、令和 2 年度島根県学力調査結果の公表の仕方について、事務局預かりになっていた。担当部局で見直しを図り、今回、変更案をお諮りするものである。

32 ページを御覧いただきたい。

変更内容は、① 公表することとしていた学校別の調査結果について、公表は行わない、② 公表することとしていた市全体の調査結果について、公表は意識調査結果のみとし、学力調査結果の公表は行わない、③ ②に伴い、市全体の「公表シート」の名称を「分析シート」と改め、別紙のとおりとする、としたものである。

分析シートについては、33 ページが小学校、34 ページが中学校である。中学校の分析シートには、英語に関する意識調査項目が加わっている点のみ小学校と違っており、

そのほかは小中共通となっている。

この変更に伴う今後のスケジュールとしては、次回3月の教育委員会会議で、市全体の意識調査公表内容についてお諮りする予定である。

また、その他として、①各校では、調査結果から自校で分析を行い、個別指導や授業改善に活用する、②全市立学校に対して、年度内に教育課程が修了するよう、指導していく、併せて、③県教委に対して、来年度以降も県学力調査が適正に行われるよう申入れを行う、としている。

以上の点について御審議をお願いする。

○清水教育長

前回、多々納委員から御指摘をいただいた件である。特に学力の調査結果等は適正に判断することはできないのではないかとということで、意識調査のみ公表するとのことである。

何か質問や意見はあるか。

○藤原委員

未学習のため解くことができなかつた問題などはあつたと思うが、その他のきちんと解かれた問題については、しっかりと分析し、子どもたちの指導に生かされるということで良かったと思う。

発表されたときに、いつも御覧になっている方は様式が違うことをお感じになられると思うのだが、発表する際には変更理由など、そういったものもきちんと一緒に説明をされるのか。

○学校教育課長

今、御指摘いただいたように、ホームページについては、丁寧に、御説明を申し上げた上で公表しようと考えている。

○金津委員

この学力調査の結果分析シートはこれで良いと思うが、結局各学校のその後の進捗はどのような状況なのか、きちんと学年の終わりまでに修了しそうなのかどうか、そ

の辺りはいかがか。

○学校教育課長

昨日を締切りとして、各市内小中学校・義務教育学校すべての学年、教科に対し、現在の進捗状況について聞いている。ほぼすべての学校で修了しており、まだ予定通りに達していないところは年度内には終わる予定であるというように聞いている。

以上である。

○清水教育長

今回はコロナがきっかけであったが、以前にも未履修という状況があったため、市全体の学校の進捗状況が大きく変わらないように指導していく必要がある。そのため、新年度は教育委員会でも校長会と進捗状況の調整について話し合いを進めていこうというように考えている。

ほかに何かあるか。

……………質問・意見なし……………

それでは、議第 46 号については承認された。

5 その他報告【4 件】

○清水教育長

本日、その他報告が 4 件提出をされている。

(1) から (3) については玉湯統合小学校関係の工事請負変更契約の関係であるため、一括して事務局から説明をお願いします。

【その他報告 (1) 議会の委任による専決処分の報告について ((仮称) 玉湯統合小学校校舎・幼稚園・児童クラブ建設 (電気設備) 工事請負変更契約)】

【その他報告 (2) 議会の委任による専決処分の報告について ((仮称) 玉湯統合小学校校舎・幼稚園・児童クラブ建設 (給排水衛生設備) 工事請負変更契約)】

【その他報告 (3) 議会の委任による専決処分の報告について ((仮称) 玉湯統合小学校屋内運動場建設 (建築) 工事請負変更契約)】

○次長 (教育総務課長)

その他報告(1)(2)(3)、議会の委任による専決処分の報告について、一括して説明を申し上げる。35ページから40ページである。

この専決処分は、いずれも玉湯学園の整備工事に関するものであり、36ページに記載している(1)は、(仮称)玉湯統合小学校校舎・幼稚園・児童クラブ建設(電気設備)工事に関するもので、169万7,300円を増額し、契約金額を1億9,734万7,700円とするものである。

契約の相手方は中電工・日新電工特別共同企業体であり、内容としては火災報知機の追加、こういったものを実施している。

38ページに記載している(2)であるが、(仮称)玉湯統合小学校校舎・幼稚園・児童クラブ建設(給排水衛生設備)工事に関するもので、450万6,700円を増額し、契約金額を1億5,630万6,700円とするものである。

契約相手は島根水道・豊洋設備特別共同企業体である。変更の理由は、水栓のレバー化等を実施したことによるものである。

次に、40ページに記載している(3)であるが、(仮称)玉湯統合小学校屋内運動場建設(建築)工事に関するもので、513万1,500円を増額し、契約金額を4億5,063万1,500円とするものである。

契約相手は松江土建・八光建設特別共同企業体である。この主な変更理由は、仮設のスロープの設置等によるものである。

説明は以上である。

○清水教育長

何か質問や意見はあるか。

……………質問・意見なし……………

それでは、その他報告(1)・(2)・(3)については以上とする。

【その他報告(4) 令和3年度松江市立女子高等学校入学者選抜の志願状況について】

○女子高等学校事務長

議案の41ページを御覧いただきたい。

まず、1番の推薦選抜の結果であるが、推薦選抜試験は、去る1月19日、本校において実施した。推薦選抜の定員は、普通科が昨年度は入学定員の20%にあたる18名程

度としていたが、今年度は5%引上げ、入学定員の25%にあたる22名程度としている。

それから、来年度改編する国際コミュニケーション科は、従来の定員の40%にあたる12名程度としている。

志願者数であるが、普通科が19名で、昨年度の同時期より7名の増、国際コミュニケーション科は4名で、昨年より1名減、合計すると23名となっている。23名全員を合格内定としている。

続いて、2番の一般選抜の志願状況である。これは2月2日現在の一般選抜の出願締め切り時点での数値であるため、志願変更により、変動する可能性がある。

普通科は定員90名のうち、推薦選抜の合格内定者を除く71名が募集定員であり、これに対して志願者数が73名、競争率は1.03倍となっている。国際コミュニケーション科は、定員30名のうち推薦選抜の合格内定者を除く26名が募集定員であり、これに対して志願者数7名であった。競争率は0.27倍である。トータルすると、募集定員97名に対して志願者数は80名で、0.82倍となっている。

参考のため、3番目に過去の一般選抜の競争率を掲載している。今回、国際コミュニケーション科の競争率が例年より低い状況ではあるが、全体では昨年度より0.18ポイントアップしている。

その下の4番目に入学者選抜関係の日程を掲載している。志願変更の受付が本日の17時までとなっている。その後一般選抜の志願者数が確定し、公表は18日となっている。3月12日が合格発表。その後3月15日から17日まで2次募集を行い、3月23日に2次の合格発表という日程になっている。

説明は以上である。

○清水教育長

何か質問や意見はあるか。

○金津委員

国際コミュニケーション科の志願状況が残念な結果なのではないかと感じているのだが、最近の若い人は海外志向が少なくなっていたりするという面もあるのかもしれないし、あるいは、まだこのコースの認知度が低かったりするのかなどいろいろあると思うのだが、その辺りはどう分析しているのか。

○女子高等学校長

まだきちんと分析ができるような資料は整っていないのだが、今のこの現状、それから生徒募集をする流れの中で感じたことを少しお話しする。

国際コミュニケーション科について、興味・関心はきっと生徒たちにはあるだろうというように思っている。ただ、その先に何があるかということがまだ明確に伝えられていないところがあるというように思っている。

したがって、もう少し将来のビジョンを明確に募集のときに伝える必要があるというように思っており、来年度以降につなげていきたいと考えている。

もう1つは、コロナの状況があり、どうしても人と触れ合ったり、海外に出かけていくような機運が社会全体の中にないということがあり、今の保護者さんもそうなのだが、海外に出かけていくこと自体、非常に危ないと心配をされる方もおられる。そのため、国際コミュニケーションというような、人とのつながりを持つところを大事にする学科としては、今年の状況は学科の追い風にはならなかった。ただ、これからいろいろなことが開いていくと思う。その流れの中で、先ほど申し上げたような内容については、保護者さんや中学生さんにしっかりPRをしていく必要があるというように思っている。

あくまでも私見であり、きちんとしたデータに基づいてお話ししているわけではない。その旨御了解いただき、お話をさせていただいた。

○金津委員

多分、おっしゃられたことが関係していると私も思う。是非これからの期待したいと思う。

○清水教育長

ほかに何かあるか。

○藤原委員

やはり今年はコロナの影響で、子どもたちに説明をしたりする機会も持ちにくかったのではないかと思う。どこの高校もそうだと思うのだが、新しいところを知っても

らうチャンスを持つことが、今年はすごく難しかったのではないかと思いつながら数字を拝見していた。

これから世の中の状況が落ち着いて、子どもたちが国際コミュニケーションについて興味を持てるような環境になるよう、また、来年はたくさん子どもたちがやってきてくれることを願っている。

○清水教育長

ほかに何かあるか。

……………質問・意見なし……………

それでは、その他報告（4）は以上とする。

6 次回教育委員会会議等の予定

【令和2年度第14回教育委員会会議】

日時：3月23日（火）10：00～

場所：教育委員会室

7 その他

○清水教育長

事務局から何かあるか。

……………発言なし……………

8 閉会宣言（清水教育長）